

March 2014

株主通信 Vol.69

第168期 第3四半期報告書

平成25年4月1日から平成25年12月31日まで

特集 成長市場を捉えたタッチパネル事業への取り組み

トッパン・ストーリー
**Toppan
Story**

CONTENTS

- 2 特集 成長市場を捉えた
 タッチパネル事業への取り組み
- 6 第3四半期 業績の概況
- 8 第3四半期 セグメント別概況
- 10 第3四半期 連結財務諸表の要旨
- 12 ピックアップニュース
- 14 会社概要・インフォメーション

特集

成長市場を捉えた タッチパネル事業への 取り組み



スマートフォンやタブレットなどへの普及で、より身近になってきたタッチパネル。

トッパンは「銅タッチパネル」を中心に、印刷テクノロジーの強みを活かしたタッチパネル事業に取り組んでいます。

今回の特集では、銅タッチパネルモジュール事業についてご紹介します。

タッチパネルの用途と成長する市場

スマートフォンからデジタルサイネージまで 多様な用途

タッチパネルは、画面に触れることで機器を操作する入力装置です。銀行など金融機関のATMや駅の自動券売機など公共の場所に設置された機器から普及し始め、スーパーやコンビニエンスストアの在庫管理用端末などに利用されるようになりました。これらは、スイッチとしての機能に重点が置かれたタッチパネルでしたが、画面を「拡大・縮小する」、「送る」などの機能を備えたタッチパネルがスマートフォンに搭載されたことをきっかけに、パーソナルな機器への搭載が進み身近なものになってきました。

現在では、スマートフォン、携帯ゲーム機、タブレット、カーナビゲーションなどの小型機器から、ノートパソコン、液晶一体型パソコンなどの中型機器、さらにはデジタルサイネージ(電子看板)、電子黒板といった大型機器まで用途が拡大しています。

多様なタッチパネル搭載機器



印刷テクノロジーでタッチパネル事業を展開

既存の資産を活用した効率的な事業展開

昨年から量産体制を開始した銅タッチパネルモジュール事業は、もともとプラズマディスプレイテレビの電磁波コントロールに用いられるシールドメッシュを量産していたラインを改造し活用を図ったものです。

既存のラインを有効活用することで、新たに生産設備を構築することに比べて、量産開始までの時間を短縮し、投資額も抑えられています。

このように効率よく、成長が見込まれるタッチパネル市場への事業の方向転換を実現しました。

独自の微細加工技術と技術連携の成果

銅タッチセンサーに銅を配線する技術には、印刷で培われた金属エッチングの技術が応用されています。

超微細加工を可能にする金属エッチングの技術があったからこそ、世界で初めて3μm(マイクロメートル=1000分の1ミリメートル)の銅タッチパネルモジュールの量産に一貫して対応する体制の構築ができたのです。

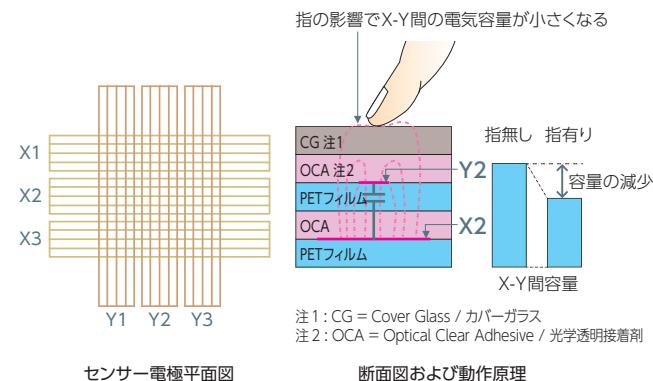
一方、開発にあたっては関係会社の株式会社オルタステクノロジーとの連携も不可欠でした。液晶ディスプレイの知見が豊富なオルタステクノロジーと、当社の印刷テクノロジーが融合して、新しい事業の道がひらかれました。

銅タッチパネルの原理と構造



銅タッチパネルは、フィルムに縦・横に配線をほどこしたタッチセンサーに指で触れることにより、変化した電気容量の位置を検知し(X,Y)の座標として特定する仕組みです。

銅タッチパネルの原理



タッチした位置の電気容量が減少し(X2,Y2)と位置が特定されます。

トッパンの銅タッチパネルの特長

タッチパネルの企画から製造までをトータルにサポート

静電容量型タッチパネルの性能向上には、電流の変化特性を合わせ込む設計ノウハウが重要です。トッパンは、タッチパネルの企画・開発段階からタッチパネルモジュールの生産まで一貫した体制を構築することで、センサーの特性を合わせ込み、コントロールICや液晶パネルなどと最適化した高性能なタッチパネルモジュールを、ワンストップで提供することを可能にしました。

銅センサーの優位性と技術開発

銅は電気抵抗値が低いことから伝導性が高く、面積が広い大型の機器に使用しても動作の高速性などへの影響を小さく抑えることができます。また、①ノイズに強い、②センサー電極と引き出し配線を一括加工できる、③額縁の幅を狭くしデザインの自由度を高められるなどの利点もあります。また、センサーはフィルムを巻き取りながら連続的な製造を行うR2R(ロール・ツー・ロール)方式のため、高い生産能力を実現しています。

① 細線化

当社が昨年開発した銅タッチセンサーは、国内の銅メッシュで最も細い3 μ m(マイクロメートル:1000分の1ミリメートル)の線幅を実現しました。細線化することで、センサー電極が目立ちにくくなり、大幅に視認性が向上するため、タブレット端末などの小型機器への搭載を可能にします。

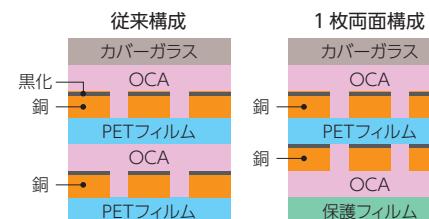
銅メッシュの細線化



②配線の両面一括パターニング

フィルムの両面に一括して銅配線をパターニングすることで、2枚のフィルムを貼り合わせるという工程が不要となります。工程がシンプルになり、精度も高めることができます。

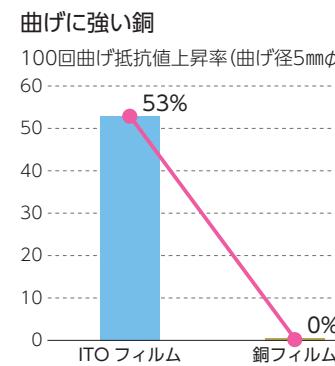
銅タッチセンサーの構成の進化



③曲面对応

銅は粘りがあり、ITO(Indium Tin Oxide:酸化インジウムスズ)などを使用する他の方式に比べ、曲げに強く切れにくいという特長があります。

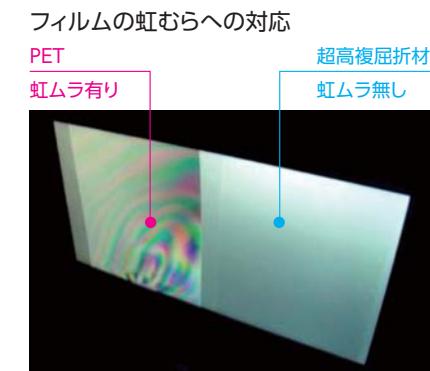
この特長は、柱などの曲面に設置するデジタルサイネージ(電子看板)や、クルマのダッシュボードなどへのタッチパネル搭載を可能にします。



④虹むら対策

従来のフィルムには、虹のように色むらが発生する場合があります。これを解消する技術開発に取り組んでいます。

虹むらは、画面が大きくなるにつれ顕著になる現象であり、虹むらを解消する技術の開発は大型機器への採用の強みとなります。



タッチパネル事業がひろく可能性

付加価値を高める新しい事業モデル

銅タッチパネルモジュールは、トッパンのエレクトロニクス事業における新しい事業モデルです。従来は、電子部品や、その製造工程で使われる部品単体の製造・販売が主体でした。しかし、銅タッチパネルモジュールは、高品質の部品をつくり上げる優れた技術を活用しながら、最終製品に近いものを提供することで、付加価値を高めています。

ニーズを見すえたタッチパネル事業の今後

低抵抗という銅の特徴に加え、細線化による視認性向上をはじめとしたさまざまな機能を追加することで、中・大型機器への展開を加速するとともに、タブレット端末などのモバイル機器の取り込みを図り、2015年度に売上200億円を目指します。さらに、お客さまのニーズに応えるべく、今後もより高性能・高品質なタッチセンサーとタッチパネルモジュールの開発を展開していきます。

第3四半期 業績の概況 (平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、金融政策や財政政策への期待感から、円安・株高へと転じており、全体としては緩やかな回復傾向にありました。

しかしながら、円安に伴う原材料・エネルギー価格の上昇や中国経済の成長鈍化など、引き続き景気の下振れ懸念があり、依然として先行きの不透明な状況で推移しています。

印刷業界におきましては、インターネット広告や電子書籍などの市場が成長を続けるなど、一部に明るい兆しが見えました。一方で、マス広告や出版などの既存市場は成熟傾向にあり、全体を通しては厳しい経営環境となりました。

このような環境のなかでトッパングループは、21世紀の企業像と事業領域を定めた「TOPPAN

VISION 21」に基づき、「グループを含めた構造改革の遂行」、「新事業・新市場の創出」、「グローバルな事業展開の加速」を重要な経営課題と位置付け、収益体質の強化のためにグループ一体となって、既存事業においては競争優位性の確立とコスト削減を推進すると同時に、新たな収益モデルを早期に確立するために、成長分野に対する経営資源の投入を積極的に図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ2.0%増の1兆1,320億円となりました。また、営業利益は35.6%増の209億円となり、経常利益は40.2%増の264億円となりました。四半期純利益は13.1%増の153億円となりました。

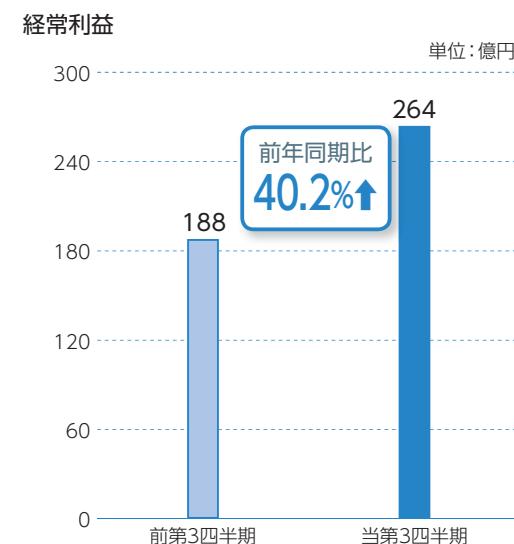
■主なグループ企業 (平成25年12月31日現在)

■情報コミュニケーション事業分野

- トッパン・フォームズ株式会社
各種ビジネスフォームの製造販売
- 図書印刷株式会社
製版、印刷、製本等加工の総合印刷業
- 東京書籍株式会社
教科用図書出版
- Toppan Leefung Pte. Ltd.
書籍、雑誌、パッケージ、商業印刷物、有価証券等の印刷

■生活環境事業分野

- 株式会社トッパンTDKレーベル
ラベル・ICカード・磁気製品の製造販売
- マテリアルソリューション事業分野
- Toppan Photomasks, Inc.
フォトマスクの製造販売
- 株式会社トッパン・コスモ
建築材および販促ツール類の製造販売
- タマポリ株式会社
ポリエチレン製品の製造販売



第3四半期 セグメント別概況

	売上高	対前年同期比	営業利益	対前年同期比
情報コミュニケーション事業分野	6,671 億円	1.4%増	245 億円	3.9%増
生活環境事業分野	2,131 億円	4.6%増	85 億円	2.3%増
マテリアルソリューション事業分野	2,799 億円	1.8%増	72 億円	333.2%増
調整額	▲282 億円	-	▲194 億円	-
合計	11,320 億円	2.0%増	209 億円	35.6%増

※平成25年4月に事業本部の統合を行い、「マテリアルソリューション事業本部」を新設したことに伴い、第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しています。前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えた数値で比較しています。

情報コミュニケーション事業分野

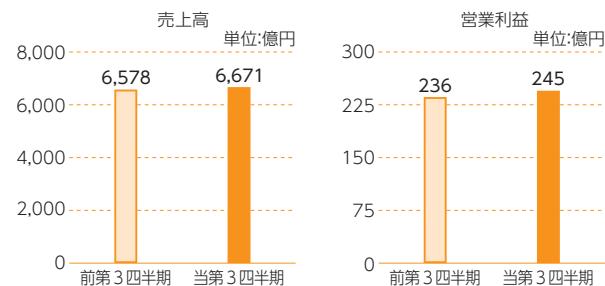
- セキュア関連では、商品券や帳票類などは前年を下回りましたが、ICカードは前年を上回りました。
- マーケティング関連では、既存のマス広告媒体における企業の広告宣伝費見直しに伴い、チラシ・パンフレットなどの印刷物は前年を下回りましたが、SP関連ツールは前年を上回りました。
- コンテンツ関連では、出版市場が依然として縮小傾向で推移するなか、雑誌・書籍ともに前年を下回りました。一方で電子書籍市場においては、BookLive!プリペイドカードの販売チャネル拡大、三省堂書店との提携

による店頭でのリアル本と連動した電子書籍の販売、クーポン機能の実装など、各種販促施策を展開し、事業の拡大に注力しております。

- ビジネスフォーム関連では、ビジネスフォームは、経費削減や電子化に伴う需要量の減少はあったものの、企業のシステム変更に伴う帳票改訂などにより、微増となりました。一方、データ・プリント・サービスは、プリント業務一括アウトソーシング需要の取り込み、BPO受託の増加などにより、前年を上回りました。



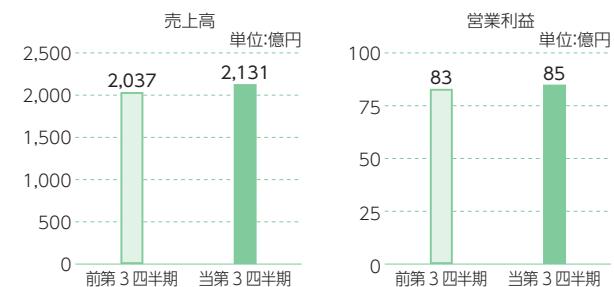
ビジネスフォーム関連の製品例



生活環境事業分野

- パッケージ関連では、環境適性や利便性の向上などの市場ニーズを取り込み、第37回木下賞を受賞した「注ぎ上手®」を含む詰替用スタンディングパウチや透明ハイバリアフィルム「GLフィルム」を活用した各種包材、さら

にはプラスチック製品が増加したことで、全体として前年を上回りました。また、紙製飲料缶「カートカン」も採用アイテムの拡大により、順調に推移しています。

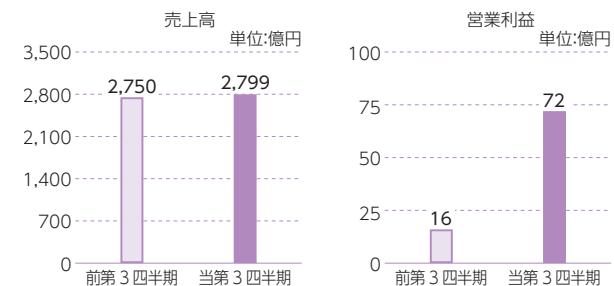


パッケージ関連の製品例

マテリアルソリューション事業分野

- ディスプレイ関連では、カラーフィルタは、平成24年8月の堺工場の事業移管の影響があったものの、スマートフォンなどのモバイル向けや、海外テレビ向けの需要を中心に積極的に取り込み、前年を上回りました。反射防止フィルムは、競争激化の影響を受け、テレビ向け需要の減速など市場環境が厳しく、前年を下回りました。
- 半導体関連では、フォトマスクは、スマートフォンやタブレットPC向けなどを中心に半導体市場が堅調に推移するなか、先端品を中心に需要を取り込み、前年を上回りました。

- 高機能・エネルギー関連では、太陽電池関連は、国内メーカー向けが好調に推移したものの、海外太陽電池メーカーの生産調整や厳しい価格競争などの影響を受け、前年を下回りました。
- 建装材関連では、国内外ともに住宅市場が堅調に推移するなか、独自ブランド「101エコシート」などの環境配慮型製品の積極的な販売展開を行い、好調に推移しました。



高機能・エネルギー関連の製品例

第3四半期 連結財務諸表の要旨

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	(平成25年3月31日現在)	(平成25年12月31日現在)
流動資産	800,645	836,969
現金及び預金	166,613	249,676
受取手形及び売掛金	410,241	403,152
有価証券	100,434	56,985
商品及び製品	35,932	39,010
仕掛品	35,134	34,386
原材料及び貯蔵品	20,595	21,459
その他	36,733	36,773
貸倒引当金	△5,040	△4,475
固定資産	832,420	853,789
有形固定資産	552,510	540,241
建物及び構築物(純額)	253,630	252,995
機械装置及び運搬具(純額)	121,351	110,613
土地	139,784	138,126
建設仮勘定	25,996	26,949
その他(純額)	11,747	11,555
無形固定資産	20,169	21,808
その他	20,169	21,808
投資その他の資産	259,739	291,739
投資有価証券	189,401	222,152
その他	74,889	71,730
貸倒引当金	△4,550	△2,143
資産合計	1,633,065	1,690,758

負債の部

(単位:百万円)

負債の部	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	(平成25年3月31日現在)	(平成25年12月31日現在)
流動負債	453,121	403,110
支払手形及び買掛金	265,997	278,493
短期借入金	12,959	14,631
1年内返済予定の長期借入金	16,870	16,032
1年内償還予定の社債	40,000	-
未払法人税等	7,497	3,235
賞与引当金	17,004	7,960
その他の引当金	676	568
その他	92,115	82,188
固定負債	291,522	377,439
社債	123,079	125,848
新株予約権付社債	590	80,784
長期借入金	100,371	97,883
退職給付引当金	41,232	40,624
その他の引当金	1,373	1,433
その他	24,876	30,864
負債合計	744,643	780,550
純資産の部	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間
株主資本	748,901	752,655
資本金	104,986	104,986
資本剰余金	117,738	117,738
利益剰余金	582,095	585,920
自己株式	△55,919	△55,989
その他の包括利益累計額	6,630	30,505
その他有価証券評価差額金	24,322	38,458
繰延ヘッジ損益	157	81
為替換算調整勘定	△17,849	△8,034
新株予約権	13	-
少数株主持分	132,876	127,045
純資産合計	888,422	910,207
負債純資産合計	1,633,065	1,690,758

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
	(平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	(平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで)
売上高	1,109,806	1,132,026
売上原価	931,412	944,160
売上総利益	178,394	187,865
販売費及び一般管理費	162,965	166,947
営業利益	15,429	20,918
営業外収益	9,262	11,340
受取利息	428	574
受取配当金	2,914	2,970
持分法による投資利益	2,155	1,645
為替差益	799	3,596
その他	2,963	2,553
営業外費用	5,807	5,779
支払利息	2,390	2,458
その他	3,416	3,321
経常利益	18,884	26,478
特別利益	9,992	6,592
固定資産売却益	1,658	1,832
投資有価証券売却益	2,389	910
関係会社株式売却益	-	3,321
退職給付制度改定益	-	419
退職給付信託設定益	5,917	-
その他	27	108
特別損失	2,595	4,772
固定資産除売却損	1,509	2,434
投資有価証券評価損	263	56
投資有価証券売却損	105	132
関係会社整理損	265	1,296
その他	452	852
税金等調整前四半期純利益	26,281	28,298
法人税、住民税及び事業税	8,292	6,796
法人税等調整額	2,645	3,999
少数株主損益調整前四半期純利益	15,343	17,502
少数株主利益	1,742	2,118
四半期純利益	13,601	15,384

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
	(平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	(平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,343	17,502
その他の包括利益	△480	26,349
その他有価証券評価差額金	△2,267	12,888
繰延ヘッジ損益	△82	△75
為替換算調整勘定	1,834	11,608
持分法適用会社に対する持分相当額	35	1,927
四半期包括利益	14,863	43,852

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

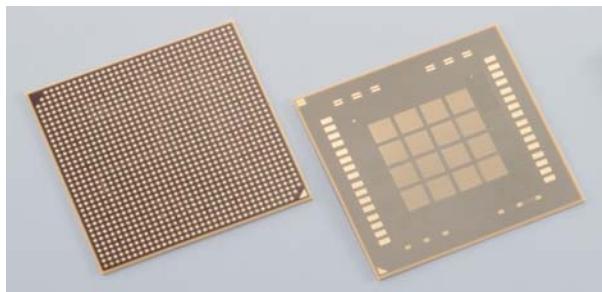
さらに詳しい情報は、当社ウェブサイトのニュースリリースのページをご参照ください。
URL: <http://www.toppan.co.jp/>

FC-BGAサブストレートの製造ラインを新設

～通信、ゲーム機、車載用などのハイエンドLSI向けに最先端製品の生産能力を拡大～

当社は、LSIの微細化や高性能化に伴い、需要が拡大しているFC-BGA(Flip Chip Ball Grid Array)サブストレート(基板)の事業拡大を図るため、新潟工場(新潟県新発田市)内に新たに生産設備を導入、2014年末から稼働を開始します。新ラインは最先端製品へ対応する設備で、FC-BGAサブストレートの生産能力は現在の約2.5倍となります。

今回の新ライン導入により、早期に売上200億円を目指します。(2014年1月14日発表)



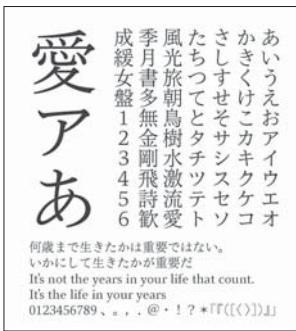
コアレスFC-BGAサブストレート

電子出版コンテンツを読みやすくするオリジナル書体「凸版文久体」で、本文用明朝体の提供を開始

当社は、凸版印刷のオリジナル書体である「凸版明朝体」および「凸版ゴシック体」をもとに、電子出版コンテンツを読みやすくする新書体を開発しています。

このたび、さまざまなジャンルで創られる文字による情報表現の担い手として、永くその活動に携わっていききたいという想いを込め、本書体を「凸版文久体(とつぱんぶんきゅうたい)」と命名。第一弾として、本文用明朝体「凸版文久明朝R」を、2014年2月上旬から提供開始しました。

当社は、急速に進む電子化の中で、あらためて読みやすさについて考え、読みやすく、作品のイメージが読者の記憶に残りやすい文字の開発に取り組んでいきます。(2014年1月27日発表)



新書体「凸版文久明朝R」

透明ハイバリアフィルム「GLフィルム」が伊藤園の紙パック飲料『充実野菜』シリーズのバリア材として採用

～アルミを使わずに長期常温保存できる紙パック容器を実現～

当社が開発した透明ハイバリアフィルム「GLフィルム」が、株式会社伊藤園(以下 伊藤園)の野菜飲料『充実野菜』シリーズの4製品で、レンガ型紙パック飲料容器のバリア材として採用されました。

GLフィルムは、当社が独自に開発した透明ハイバリアフィルムです。世界最高レベルの酸素ガスバリア性と水蒸気バリア性を持ち、食品やトイレタリー、医薬品、産業用途など、幅広い分野での採用実績があります。また、国内だけでなくアジアを中心に海外市場でも高い評価を得ており、約45の国と地域、約15,000点の商品に採用されています。

従来、レンガ型の紙パック飲料容器には、長期保存の観点から、バリア材としてアルミ箔が使用されてきました。しかし、環境意識の高まりによるCO₂削減への取り組みなどにより、非金属素材でありながらアルミ箔と同等のバリア性能を持つバリアフィルムへの期待・関心が高まっていました。

今回、伊藤園『充実野菜』シリーズに使用されている

日本製紙株式会社が制作するレンガ型の紙パック飲料容器「フジパック」のバリア材として、当社が開発した「GLフィルム」が採用されたことにより、常温での長期保存を可能にただけでなく、牛乳パックと同等のリサイクルが可能な環境に配慮した飲料容器として、伊藤園の環境への取り組みに貢献しました。

当社は今後、GLフィルムを紙製飲料容器のバリア材として、飲料業界や包装業界に拡販していきます。これにより、GLフィルムを含む透明バリアフィルム事業全体で2015年に500億円の売上を目指します。

(2014年2月18日発表)



GLフィルムが採用された、伊藤園の紙パック飲料『充実野菜』シリーズ4製品 © ITO EN, Ltd.

※ニュースの内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

12月

「シネマ de文化財」新シリーズ
「シネマ・トラベル -映画館でみる世界遺産の旅-」を開発、
2014年3月8日より公開開始

電子チラシポータルサイト「Shufoo!」、家計簿アプリ「ReceReco」と提携、
日本で初めて、家計簿アプリ上で、電子チラシの閲覧を可能に

1月

ピックアップ
FC-BGAサブストレートの製造ラインを新設

●

ピックアップ
電子出版コンテンツを読みやすくするオリジナル書体
「凸版文久体」で、本文用明朝体の提供を開始

簡単に美味しく調理できる電子レンジ専用
チャック付きパウチ「スマデリバッグ®」を開発

● 2月 ●

ピックアップ
透明ハイバリアフィルム「GLフィルム」が伊藤園の紙パック飲料
『充実野菜』シリーズのバリア材として採用

日本初 NFC対応スマートフォン向け
非接触ICクレジット発行の商用サービスを開始

会社概要・インフォメーション

■会社概要 (平成25年9月30日現在)

- 社名 凸版印刷株式会社
- 本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
電話:03-3835-5111(代表)
URL:http://www.toppan.co.jp/
- 会社設立 明治33年1月17日
- 株式会社に組織変更 明治41年6月4日
- 資本金 104,986,430,314円
- 従業員数 連結 48,878名

■事業所 (平成25年12月31日現在)

- 本社および事業(本)部
本店/本社事務所/国際事業部/情報コミュニケーション事業本部/
生活環境事業本部/マテリアルソリューション事業本部/
西日本事業本部/中部事業部/東日本事業本部
- 研究所
総合研究所
- 工場
札幌、千歳、仙台、群馬、川口、深谷、朝霞、坂戸、幸手、嵐山、板橋、相模原、
新潟、富山、名古屋、三重、松阪、滋賀、伊丹、滝野、福岡、熊本など
※上記工場は、当社の主要な製造子会社を含んでおります。

- 営業所
帯広、札幌、千歳、函館、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、
宇都宮、高崎、大宮、千葉、東京、横浜、新潟、金沢、長野、松本、静岡、
浜松、名古屋、松阪、京都、大阪、和歌山、神戸、松江、岡山、福山、広島、
周南、徳島、高松、松山、高知、北九州、福岡、久留米、佐賀、長崎、熊本、
大分、宮崎、鹿児島、那覇
- 海外(現地法人含む)
ニューヨーク、サンタクララ、ラウンドロック、ロンドン、アテネ、
シンガポール、北京、上海、深圳、香港、台北、バンコク、ジャカルタ、
グルガオンなど

■トッパンホール主催公演のご案内

2013/2014シーズンのラインナップ

4月14日(月) 19:00	《歌曲(リート)の森》～詩と音楽 Gedichte und Musik～ 第13篇 イアン・ポストリッジ(テノール) ジュリアス・ドレイク(ピアノ)	残席僅少
4月30日(水) 19:00	アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン) イザイ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲	完売
5月 9日(金) 19:00	ジャン=クロード・ペヌティエ(ピアノ)	
5月30日(金) 19:00	ファニー・クラマジラン(ヴァイオリン) ヴァニヤ・コーエン(ピアノ)	
6月10日(火) 19:00	パトリツィア・コパチンスカヤ(ヴァイオリン) コンスタンチン・リフシツ(ピアノ)	完売
7月13日(日) 15:00	《日下紗矢子 ヴァイオリンの地平 1》 日下紗矢子(ヴァイオリン) パロック ラファエル・アルパマン(チェンバロ)、アレク・アルパマン(チェロ)	残席僅少

公演のお問合せ・チケットのお申し込みは、
トッパンホールチケットセンターまで

TEL 03-5840-2222



木のぬくもりに包まれた408席の親密な空間で、
心癒す極上の室内楽を皆さまにお届けします。

TOPPAN HALL

トッパンホール
〒112-0005 東京都文京区水道一丁目3番3号トッパン小石川ビル
TEL 03-5840-2200 FAX 03-5840-1515
E-mail: info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/

■P&Pギャラリー企画展

3Dプリンティングの世界によろこそ!

— ここまで来た! 驚きの技術と活用 —

2013年、3Dプリンタが日本で大きな話題を呼びました。「夢の機械」とまで言われ、安価な製品も次々と登場する中で、個人で3Dの出力を楽しむ人も出てきています。3Dプリンタとはどのようなもので、どう進化してきたのか。どのように使われ、何を作ることができるのか。

本展では、3Dプリンタや出力品の展示はもちろん、今までの歴史から最新の活用シーンまで、「3Dプリンティング」に関するあらゆるものを一挙に紹介します。

ぜひ、「3Dプリンティング」がもたらす世界をのぞいてみてください。

会 期：2014年3月11日(火)～6月1日(日)

休 館 日：毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日)

5月5日(月・祝)は開館

5月7日(水)は休館

開館時間：10:00～18:00

入 場 料：無料

■主催/凸版印刷株式会社 印刷博物館

■企画/トッパンアイデアセンター

■企画協力/Fab Lab Shibuya



■株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■定時株主総会	毎年6月
■株主確定基準日	
定時株主総会・期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
■1単元の株式の数	1,000株
■公告の方法	電子公告により当社ウェブサイト(http://www.toppan.co.jp/)に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、官報に掲載いたします。
■上場金融商品取引所	東京証券取引所
■証券コード	7911

〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

凸版印刷株式会社

本店 〒110-8560 東京都台東区台東一丁目5番1号
本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL: 03-3835-5111 (代表)

URL: <http://www.toppan.co.jp/>